

鶴居・伊藤 タンチョウサンクチュアリ

■ネイチャーセンターは休館中です（4/1～9/30）



カラフトイバラの咲く道

鶴居村は牧草刈りの季節です。刈取り後の牧草地の周りにピンクの花が目立ちます。カラフトイバラの花です。近づくともバラ科特有の良い香りに包まれます。同じバラ科のハマナスに良く似た花なのですが、色は控えめ大きさも小ぶりです。

苦勞の多い人生をたとえて「茨の道」なんて言いますが、こんな香しい可憐な花が咲き乱れる道ならば率先して歩いてみたい。ただし「きれいなバラ（科）にはトゲがある」なので、万全のトゲ対策が必要です。（櫻井）【6月27日 25℃/10℃】

釧路湿原国立公園 温根内ビジターセンター

■湿原観察 ■野鳥観察 ■自然情報 ■館内案内
■周辺観光情報 ■自然ふれあい行事
※開館時間（4～10月）午前9時～午後5時



カッコウも必死です

初夏の釧路湿原。鳥たちは子育ての時期に入り、温根内では巣立ち雛の姿が時折見られるようになりました。そんな中、「カッコウ、カッコウ」の鳴声でおなじみのカッコウが今年も飛び回っています。「托卵」という手段で他の鳥の巣に卵を産み、その親鳥に子育てを任せ、自分たちでは子育てをしません。一見、卑怯なようにも思えますが、カッコウも自分で子育てができない分、必死だろうと思います。

（藤原）【6月26日 25.2℃/8.5℃】

釧路湿原国立公園 塘路湖エコミュージアムセンター

■湿原の自然情報や映像設備（湿原の詩・釧路湿原国立公園誕生までの2本立て） ■自然ふれあい行事
※開館時間（4月～10月）午前10時～午後5時
◎入館料 無料



初夏から夏本番へ

塘路湖畔では夏の花の代表格ホザキシモツケが咲き始めました。6月に入ってから気温の低い日が続いていたにもかかわらず、昨年よりも一週間ほど早い開花確認です。湖畔では他にもチシマアザミやコウゾリナなどの花が咲き始め、さらにもうじき開花しそうな植物も多く見られます。

現在は初夏の花、エゾスカシユリが見頃を迎えている塘路湖畔ですが、もうじき主役はホザキシモツケをはじめとした夏本番の花々に移り変わっていくでしょう。（中野）【6月25日 21℃/17℃】